

Les Ressources du mois

- Juillet 2010 -



Le film coup de cœur



Welcome, Philippe Lioret, 2009

『ウェルカム』

監督：フィリップ・リオレ 出演：ヴァンサン・ランドン

カレーという町の水泳の先生（ヴァンサン・ランドン）が、自分の妻に戻ってきてもらう為に、不法滞在のクルド人少年に水泳を教え始める。絶望に打ちひしがれながらも、少年は、イギリスに住む恋人に会う為に、英仏海峡を泳いで渡る決意をしていた。

社会が抱える問題を見つめ、美しくも悲しい悲劇を描く。

A écouter à tout prix !

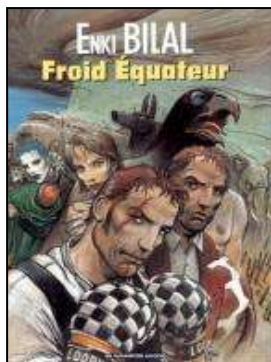


J'accuse, Damien Saez, 2010.

歌手：ダミアン・サエズ

ゾラの小説と同じタイトルのこのアルバムで、サエズは、アグレッシブな感覚を復活させている。1999年、世代攻撃的なシングル「Jeune et con」のあの感覚である。「女たちが反抗していた時代があった、今はむしろ迎合している。」という、非常に個性的な社会学的ヴィジョンを持つサエズ。荒々しいロックをバックに、何にでも付和雷同する現代人を彼一流のやり方で攻撃している。

A découvrir

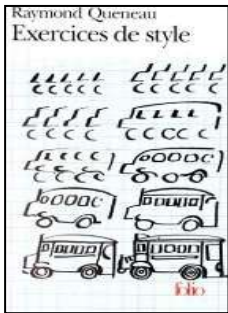


Froid Equateur, Enki Bilal, 1992.

『冷たい赤道』エンキ・ビラル著

ニコポールとニコ、空飛ぶピラミッドの面々、ジル・ビオスコップ、ゴゴール・ダールゴール、その他新旧取りまとめて、あやしげなKKDZOの影の下、アフリカに集合する。

Le roman du mois



Exercices de style, Raymond Queneau, 1947.

『文体練習』 レーモン・クノー著

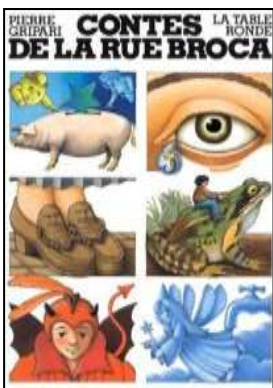
« Tanka :

L'autobus arrive Un zazou à chapeau monte Un heurt il y a Plus tard devant Saint-Lazare Il est question d'un bouton »

この短い話しは、99回、99通りの様式で書かれています。絵等にされたり、キャバレーで演じられたりと、大ヒットしました。

また、朝比奈弘治訳による日本語版も当図書館に所蔵されています。

Pour les petits (et les grands...)



Contes de la rue Broca, Pierre Gripari, 1966.

『ブロカ通りのコント』 ピエール・グリパリ著

ブロカ通りは他の通りとはちょっと違う。通りの端と端は確かにパリに出ているのだが、パリそのものではなく、ちょっと外れていて、別の次元だったり、地下等々、その通り自体が小さな村のようである。何年か前、一風変わった人物がこの通りに出没し始めた。変な格好をした、無精ひげのその男は、読者のいない作家でムッシュ・ピエールと名乗った。でもブロカ通りの子どもたちはたちまち、彼の正体を暴いてしまう。何と、年寄りの魔女だったのだ！この人物と通りの出会ったところからこのお伽話が始まる。20世紀の都会の民間伝承とでも言おうか。

En français facile



Le mystère de la chambre jaune, Gaston Leroux, 1907.

『黄色い部屋の謎』 ガストン・ルルー著

黄色い部屋のドアは内側から鍵がかかっており、ひとつしかない窓の錠戸も内側から鍵がかかっていて、暖炉もない。誰がスタンジェルソン嬢を殺そうとしたのか、そして、その殺人者はどこから入りどうやってこの黄色い部屋から逃げたのか？奇想天外な冒険に満ちた捜査の果てに、このぞっとするような問題に終止符を打つのは、若いリポーターのルールタビーユ。江戸川乱歩が世界の推理小説ベストテンに選んだ名作が1500ワードレベルの簡単読本に。

La presse française à l'Alliance



France Japon Éco

『フランス・ジャポン・エコー』（季刊）

在日フランス商工会議所機関紙『フランス・ジャポン・エコー』は、1963年に創刊。日本でビジネス、文化を紹介する日仏2ヶ国語の情報誌です。日仏経済に関連する最新ニュースを掲載。金融・工業・イノベーション・企業・社会・文化・政治など様々な観点から日仏経済を検証、解説しています。